

開催報告

未来ビークルリサーチセンター第10回シンポジウム 「電池が拓く新しいビークル社会」

未来ビークルリサーチセンター 環境コア
電気・電子工学系 教授 櫻井 庸司

昨年策定された「Cool Earth—エネルギー革新技術計画」にも革新技術として取り上げられているように、地球環境に優しい未来ビークル実現に向けて、大幅な燃費向上・CO₂ 排出量削減に威力を発揮する高性能二次電池・燃料電池が注目を集めています。このような背景の下、平成21年3月10日に本学において、「電池が拓く新しいビークル社会」と題して、未来ビークルリサーチセンター第10回シンポジウムを開催致しました(別添プログラム参照)。

本シンポジウムでは、クリーン電源の開発・車載応用ならびに次世代自動車の現状と将来展望に関して、この分野の第一線でご活躍中の外部講師4名をお招きし、ご講演頂きました。

まず始めに、ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車など環境先進ビークルにおける電動パワートレイン化の動向について、野村総合研究所・風間氏、産業技術総合研究所・清水氏からお話を伺いました。続いて、リチウムイオン電池を中心とした次世代自動車用二次電池の最新の研究開発状況について、日産自動車総合研究所・秦野氏、パナソニック エナジー社・井上氏にそれぞれご講演頂きました。

当日は、学外から95名、学内から40名、計135名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。



野村総研・風間氏



産総研・清水氏



日産自動車・秦野氏



パナソニック・井上氏

豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター 第10回シンポジウム

「電池が拓く新しいビークル社会」

- 日時：平成21年3月10日（火）13:00～16:40
- 場所：豊橋技術科学大学 A2講義棟 A2-101
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター
- 後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会
- 協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE名古屋支部、自動車技術会

時間	プログラム	講演者
13:00 ～13:10	未来ビークルリサーチセンター紹介	豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター センター長 福本 昌宏
13:10 ～14:00	【講演1】 「自動車における電動パワートレイン化の展望」	(株)野村総合研究所 グローバル戦略コンサルティング1部 上級コンサルタント 風間 智英 氏
14:00 ～14:50	【講演2】 「プラグインハイブリッド自動車の開発動向と 将来展望」	産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 客員研究員 清水 健一 氏
14:50 ～15:00	休憩	
15:00 ～15:50	【講演3】 「自動車用高性能リチウムイオン電池の研究開発」	日産自動車(株)総合研究所 社会フロンティア研究所 主任研究員 秦野 正治 氏 東京大学 人工物工学研究センター 准教授 兼、日産自動車(株) 電子・電動要素開発本部 エキスパートリーダー 堀江 英明 氏
15:50 ～16:40	【講演4】 「次世代自動車用二次電池の開発」	パナソニック(株)エナジー社 技術統括グループ チームリーダー 井上 利弘 氏